

(山田観光課長 答弁)

① 波浮港 野口雨情の歌碑に関して

台風の際の波を被るなどの被害により何度か修繕をおこなっております。音階については、今まで何回か調整をおこなっていますが、微妙な調整が必要で島内での対応は難しく、島外業者のあてもなく現在に至っています。今の情報化社会では、日本中の情報が取得可能となっているため、再度調査・検討したいと思います。

② 波浮港 旧港屋旅館の整備に関して

旧港屋旅館については、歴史的な価値について十分理解しているところです。しかしながら、老朽化が激しく、台風の度に破損、修理を繰り返しており、近隣の家屋にもご迷惑をお掛けしている現状です。観光課としては、長寿命化を図り維持していきたいという考えはありますが、その費用の調査や住民の方々の意見もお聞きし、今後の方針を示していければと考えます。

③ 観光案内板に関して

町では、ガイドラインに基づき、看板設置の考え方を共有し、相互に連携しながら総合的に整備事業を推進するために、庁内関係課で看板整備連絡会を設置しています。オブザーバーを、支庁関係課、気象庁、環境省にお願いしています。

km表示について、ガイドラインの誘導板欄に

「方向や距離等の情報を示し、目的地への誘導を行うもの」として記載されていますので、新設・更新する際は可能な限り表示していきます。

④火山博物館 ヘリポートの有効活用に関して

火山博ヘリポートについて、伊豆大島火山博物館リニューアル推進委員会でも話題に上がっており、その有効活用について検討しているところです。予算の関係があり、火山博リニューアルに含むことが可能かどうか明言はできませんが、今後、整備していきたいと考えています。

⑤弘法浜 母の会売店および休憩舎の再設置に関して

売店及び休憩舎について、水道料、電気料、火災保険は観光課が取り扱っていますが、もう少し早く気が付けば良かったのですが、建物の所管は総務課となりますので、再設置については回答を控えさせていただきます。なお、日陰についてですが、観光課としては、売店でパラソルを借りていただき、大島にお金を落としていただければと思います。

(下村総務課長 答弁)

・郷土資料館内に設置されている大島リンク記念植樹およびハワイ島親善交流トーテムポールについて

総務課所管に近い内容の、トーテムポールについてですが、先日、現地で確認してきましたが、素材がヤシの木と思われるものは、元の姿が分からないほどに劣化していました。色々調べてみましたが、どうやら、ハワイでは、神の像と崇めるもので、ハワイでは、キー、ニュージーランドのマオリ族の言葉では、ティキというものらしいので、簡単に修復

等の手当では難しいものだと思います。

次に、大島リンク記念植樹の件ですが、所管は、政策推進課になると思いますが、通告に無いので、5年弱、政策推進課長に就いていた者としての、発言ですが、記念植樹の件は、前任者からの引継ぎに無かったので、私も後任に引き継いでいません。

(谷口教育長 答弁)

郷土資料館のあり方に関して

議員が言われる「島民のみならず大島の自然、歴史、文化（民俗）を学び感じとることができる施設として観光に寄与する役割を果たす」については、議員の仰る通りだと思っています。

(紙面の都合上、利用人数は割愛させていただきました)

館内及び古民家のガイドについては、できれば設置することが理想であると考えます。以前、都の制度で教育相談員が自然休養村の事務所内にいたことがあり、郷土史に大変詳しい先生方でしたので、合間を見て説明されていた姿を思い出します。また、教育委員会事務所に訪ねてこられた方を郷土資料館に案内し、波浮港口の掘削工事（平六翁が手掛けた事業）のビデオの視聴や説明をした所、いたく感銘し、そこからヒントを得て、その後「黄金海流」という小説を出版されました。作家の名は「安部龍太郎」氏、時代小説家の大家となっておられ、2013年に直木賞を受賞されております。

仮に、ガイドを設けるとすれば契約内容の変更、予算措置も必要となります。更には、人のガイドでなくとも、一時的に予算はかかりますが、音声によるガイドも一考の価値はあると考えます。今後、契約相手方のシルバー人材センターとの調整や他の関係課とも相談しながら考えていきたいと思っています。